

令和 7 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 7 年 8 月 25 日(月)開催分

< 開催時間 > 14:00~14:30

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > 9月補正予算案の概要
スロベニア共和国クラン市との姉妹都市締結
ダン☆スタ FUKUI 2025 の開催
ONE PARK FESTIVAL 2025 の開催
第 41 回共同通信社杯競輪(GⅡ)の開催

< 質疑応答 >

【記者】

市立図書館の工損調査について、概要を教えてください。

【市長】

市立図書館のリニューアル工事により周辺建物に影響が出ている場合、例えば壁にひび割れが発生するようなケースでは、その因果関係が明確であれば、福井市が補償を行うものです。

【記者】

今回の米(まい)にち元気!シニアのくらし応援事業で 65 歳以上の高齢者のみを対象とした理由や狙いを教えてください。

【市長】

この事業の目的は二つあります。まず、米離れを防ぐという点です。前回は子育て世代を対象とした応援を行っていましたが、今回は 65 歳以上の高齢者に焦点を当てました。老人福祉法では 65 歳以上を老人と定義しており、一人暮らしや 65 歳以上の夫婦世帯などが主な対象です。高齢世帯は食費の割合、いわゆるエンゲル係数が高いため、その家計負担を軽減するという2つの狙いがあります。

【記者】

昨年度プレ開催されたダン☆スタが、本年度から本格的に開催されるとのことですが、規模感や内容について教えてください。

【市長】

本格的というよりも、ゴールはまだ先にあるという印象です。ただ、今年度はグレードアップした内容で盛り上げていきたいと思っています。ダンスには様々なジャンルがあり、例えばブレイクダンス協会やチアドリームプロジェクトなどがあります。このような多くの団体からご協力をいただき、さらに地域のダンス活動の賑わいを醸成できると考えています。これをきっかけに子供たちのダンスグループが各地で活発化する可能性も期待しています。今後さらに、質や内容を充実させることができると考えており、福井からダンスを通じてさまざまな発信ができればと考えています。

【記者】

スロベニアのクラン市との姉妹都市協定締結で期待される効果や市民へのメリットについて教えてください。

【市長】

ホストタウン誘致をきっかけに、自然な形で提携が進みました。昨年、議会とともに現地を訪問し、子どもや学校の先生方の交流が可能であると確認しました。この協定を通じて、福井市がヨーロッパの中でも特別な関係を築くことができ、より深い交流が実現できると考えています。また、クラン市は小規模な都市ながら環境への取り組みに力を入れており、スマートシティの実践など多くの学びがあります。観光や経済面、教育水準の高さも魅力で、市民に多くのメリットを還元できると期待しています。

【記者】

今回、1 億 7350 万円を東公園・アリーナ整備関連調査事業として計上していると思うのですが、構造物改造移転や土砂掘削といった公園の内外観が変わるような事業だと思います。これについて、アリーナの建設が完全に決定していない段階でも、進めても大丈夫なのでしょうか。

【市長】

令和 10 年秋の完成を目指しているため、文化財の発掘や道路整備を段階的に始めることは重要です。これまでの議会で議論がありましたが、アリーナ建設そのものを否定する声はなく、概ね理解を得られているのではないかと認識しており、どうすればうまくいくかという議論にシフトしています。そのため、議会の意見を踏まえ、今回予算を計上しました。

【記者】

アリーナ建設の決定は、何をもって決まるのでしょうか。

【市長】

経済界が計画を立て、福井市、福井県が支援を明確に示すことがそうだろうと思います。建設費に関しては特別委員会で概ね同意が得られ、運営面については議論が進められています。議会の意見を伺いながら、また、県での議論の推移も見していく必要があると思っています。

【記者】

市長の発言で「概ね理解を得られている」とありましたが、それは議会での理解という意味でしょうか。

【市長】

そうです。議会の特別委員会などで議論いただき、全体的には建設への理解が得られていると感じています。ただし、運営面などについては引き続き意見が交わされています。全員が賛成するわけではありませんが、全体として「概ね理解」という表現を使っています。